

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学 新聞会
責任者 遊佐めぐみ

六月号

投票率二年ぶり

六割台に

五月十八日から五月二十日にかけて、執行委員会役員選挙が行われた。そして、執行委員長に能登光晴氏、副委員長に石和淳氏と樋口浩子氏の両名が信任された。総投票数は一四九五票(総有権者数二二四七名)、投票率にして六六・五三%であった。

今年度は投票率が一六・〇五%上回ったことになるが、選挙管理委員長の齊藤亜紀夫氏は反省点として次の事を挙げている。

一、四年生の投票率向上のため、移動投票所を設けようとしたが、人員不足のため実現ができなかったこと。
二、投票予定を早めたにもかかわらず活動が遅れ、慌ただしくなってしまう充分な宣伝ができなかったこと。

以上の二点のうち四年生の投票率が低いことは毎年言われていることであり、その対応策を考えたという点では一歩前進したと言えるであろう。投票に関しては、予定を早めるのもいいが、宣伝が充分に出来ないのでは逆効果である。それに、投票時間の都合を訴える声もあるのだから、これは来年への一つの課題と言えるであろう。

また、投票率の増加の要因として、部活の執行部に働きかけた結果、団体に投票に来る人が多かったという事を挙げている。これは今回の選挙にはなかなかの効果があつたようだ。

この度、新聞会では新しく執行役員に信任された三名に今後の抱負を伺ってみた。(敬称略)

委員長 能登光晴

六月から執行を受け継ぎ、改めて先輩方の大変さを実感し、各自自治団体及び大学側との交流においてあつたしているのが現状です。しかし、そんなことばかりは言っていては、残念ながら、現在執行委員会では、前期学生大会に向けて、着々と準備を進めているところです。生命科学部増設で、より一層の充実したものにすると期待しています。現在の目標は学生大会の成功であり、まず、部室棟や駐車場の管理、過去問題等の提供を行うほか、薬科大六年制計画における問題についても積極的に対処し、学生一人一人の手助けになればと思っています。

副委員長 石和 淳

今年度は、生命科学部が開設されるという面でプラスになることもあり、今までになかった様な新しい問題が生まれると思われます。それらやその他の駐車場、定期試験の過去問等の諸問題に適切に対処するために、皆さんの積極的な意見を求めたいと考えています。そして皆さんが充実した学生生活を送れるように、副執行委員長として執行委員長を助け頑張ります。

副委員長 樋口浩子

今年度は生命科学部開設に随する諸問題や、学部学生駐車場をはじめとする様々な問題があります。このような問題を解決していくために、私達執行委員会ではより積極的に活動していきたいと思っております。そこで、私は執行委員長の良き補佐役として様々な問題に対して対処し、皆さんの学生生活がより一層充実したものであるように努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

このように、新執行委員会役員に就任した三名は充分に意欲的な態度を語っている。現在の、我々学生は執行委員会の具体的な活動についてよく知らない人が多いのが現状だ。これは、学生の選挙への無関心にもつながる事だと言えよう。今年度の投票率は、この数年で最高であったが、まだまだ高いとは言えない。執行委員会の方でも、緑の下の力持ちばかりではなく、自分達の活動をアピールしてもらいたい。執行委員会が何をしたいのかかわれば、学生も関心を持つし、それが投票率の増加にもつながるであろう。

これからは、学生一人一人に関心を持ってもらうよう、積極的に自分達の活動をアピールし、執行委員会にとって我々学生にとってもよりよく発展していくことを期待したい。

マラソン大会終了

五月十四日、第十九回マラソン大会が開催された。当日は雲の多い空模様であったが気温が高く、参加者にとっては厳しいコンディションであったと思われる。例年と同様に出走者は、各クラブのユニフォームはもちろん、校旗を身にまとい、一部ではドレスやかわいらしい奇抜なコスチュームでの力走となった。体育部門長である前田拓哉氏は今回の感想を次のように語った。

「マラソン大会が終わってほっとしたというのが今の正直な気持ちです。今年から生命科学部も加わって、準備の段階で例年とは異なった面もあり、いろいろと戸惑ったこともありました。しかし幸い天候にも恵まれ事故もなく、盛大に行うことができました。これも協力していただいた方々、そして参加していただいた方々のおかげだと思っています。」

ペリカン文書

話題作「ペリカン文書」を観た。ある法学部の女子大生によって導き出された飯舘「ペリカン文書」。最高裁判事2名の殺害を解明したこのレポートを軸に殺人者が殺人を呼び、やがて巨大な国家的陰謀が明らかになっていく。主人公ダビッド・シヨウ(ジョーリア・ロバート)の、目の前で恋人トーマス・キャラハン(サム・シェパード)の乗った車が爆発炎上するシーンに余りにも残酷で、これからは彼女に迫るもの恐怖さを予感するの十分であった。次々と周りの人々が殺されていく中、自分が狙われていることを確信したヒロインは変装を重ね、魔の手から逃れようとするが何度も失敗を繰り返す。この作品は1993年度全米映画興行3位の好成績をあげた「ザ・ファーム」法律事務所」で米ミステリー小説界に旋風を巻き起こしたジョン・グリシャムの世界。

一般男子 (7.1 km)			
一位	小園幸輝	陸上部	2242
二位	藤野浩則	分析化学部	2243
三位	寺島美生	生命科学研究部	2244
四位	佐藤且	薬品製造工	2245
五位	石綿大輔	サッカー部	2246
男子 (4 km)			
一位	林康男	第二微生物教室	2339
二位	小椋隆彦	第一化学教室	2340
三位	久保匡彦	第二化学教室	2341

一般女子 (4 km)			
一位	石川多鶴	女子バドミントン部	2420
二位	山根真紀	女子スキー部	2429
三位	南恵里江	女子スキート部	2430
四位	安部悦江	女子バドミントン部	2433
五位	長谷川保子	女子バスケット部	2434
研究室女子 (4 km)			
一位	野見山佳子	臨床生化学教室	2432
二位	野尻倫子	第一薬理化学教室	2435
三位	野尻山洋子	第一薬理化学教室	2434

夕刻の涼しい風が吹く中で開会式が行われ、マラソン大会は大盛況のうちに幕を閉じた。

薬味

先日台所の排水口にストッキングを張った。古くなったストッキングを切り、片方を結んで袋状にして排水口のカーゴに掛けるのである。一枚のストッキングから六枚の袋が作れる。二日ほど経ってストッキングを覗き込み、驚いた。米粒、パンくず、野驚いたれ端々ストッキングを掛ける前にはいつもほとんど空だったカーゴに、細かいゴミが溜まっている。普段は知らない内に流してしまっているゴミである。浴室の排水口にもゴミ取り用のシールを貼った。小さ目の穴がたくさん空いていて、そこに髪の毛などが引っかかるのである。四人家族のうち三人が女性である我が家では、二週間に一度位の割合で髪の毛を取り除かないと水が流れなくなってしまう。ゴミが溜まった流しのストッキングを交換して、今更ながら家庭排水の汚さを思い知らされた。今や河川や湖の汚染は工業排水によるものより日常生活排水によるものの方が多い、という話さえある。日本の河川は大陸の河川に比べ急流で酸素を含み易いため微生物によるゴミの分解が早い、という話を聞いた。だが河川の自浄作用にも限界は存在する。人間が河川を汚す速度が浄化速度を上回れば、当然河川は汚れていく。汚れた川の水はやがて海に流れつき汚染は次第に広がっていく。汚水が海流に乗れば汚染範囲はさらに拡大する。日本の太平洋沿岸で捨てられたゴミが海流に乗って太平洋の真ん中まで流されたという事実もある。河川だけでなく地球環境そのものを守るために、排水口にストッキングを掛けることを提案したい。(しゆ)

